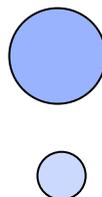


編集室より

第3回ジャパン・ヤーン・フェア（JY）が終了した。3日間の会期を通じて35都府県及び海外から2,927名の来場（海外14名）があった。そもそもJYは尾州産地が、紡績の海外移転などで糸が入手難になっている現状や一層の差別化素材作りに貢献するため、開催したものであるが、3回目にして早くも“全国区”に定着した。来場者を分析してみると愛知県からは1,296名で44%を占めた。この数字を多いと見るか、地元なのに少ないと見るか、判断は分かれるが、わざわざ岩手県や山形県、沖縄県、鹿児島県、熊本県など遠隔地の来場を考えると、地元にはしっかりと見て頂きたい。会期中に最も印象に残ったのはレグニットSPAのデザイナー10数名がニットを伴って糸選びをしていた点だ。デザイナー達の若さが会場を華やかにしたが、ブースを見る目は真剣そのものだった。「商材を逃さない」というプロの目だ。JYはテキスタイルやニットだけでなく、SPAやセレクトショップの評価をも得始めた。（MY）



テキスタイル&ファッション

編集・発行	財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター
監修	愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター 愛知県繊維振興協会
協力	愛知県産業技術研究所三河繊維技術センター